

2018年7月14日(土)

## 報告 アベノミクスの破綻と地域金融機関の再編

静岡大学 鳥畑与一

### はじめに 地域金融機関の合併再編をどう見るか

#### (1) 地域金融機関の収益性悪化

貸出金利(預貸利鞘)低下による資金利益の減少

#### (2) 収益性悪化の評価

①担保保証に依存した事業性を評価しない銀行経営の責任:橋本卓典『捨てられる銀行』ほか

②貸出金利低下を貸出額増加で補う県境を越えた貸出競争の悪循環

県内における高シェアの強みが活かさない(市場支配力の後退)

③人口減少・中小企業減少による経営基盤の衰弱と銀行過剰論

↓

打開方向 事業性重視の貸出しほか持続可能なビジネスモデルの構築

再編合併による経営基盤の強化

↑

根拠としての「顧客向けサービス業務収支の赤字」拡大論

#### <何が問題か?>

①アベノミクスとりわけ金融政策の失敗の不問:アベノミクスの失敗が真の危機の原因

マイナス金利政策

中小企業の低生産性論と新陳代謝活性化論

信用保証制度の後退

②地域金融機関の本来の役割発揮とは逆行した再編論

金融政策の行き詰まりを金融行政で突破する試み

政府の成長戦略を地域金融機関の機能強化(新陳代謝促進)で支える試み

県境を越えた広域での合併=スーパーリージョナルバンクの追求

↑

これが真の解決方向なのか?悪循環を一層促進するだけではないのか?!

### 一、地域金融機関の危機論の検証

#### (1) 顧客向けサービス業務収支赤字論の批判

本当に「伝統的な銀行業務を中心とするビジネスモデル」は持続可能でないのか?

\*本業(貸出・手数料ビジネス)利益赤字が、2016年度決算で過半数の54行

\*本業以外でも比較的金利の高い保有有価証券の返済・償還が続く

↓

地域金融機関の本業と本業以外の収益は一層悪化していく(①P8)。

なぜ業務純益やOHRでの経営評価でないのか?

「顧客向けサービス業務の利益=貸出残高×預貸金利回り差+役務取引等利益-営業経費」

↑

・有価証券等からの収益を除く理由

・営業経費全体をコストとして収支を評価する手法

「一般に複数行での競争が成立するためには、地域から得られる収益がそれらの金融機関の事業に必要な経費の合計を上回っていることが必要である。金融機関ごとにシステムや人件費等の固定費が発生することから、人口減少等により地域からの収益が減少すれば、複数行分の固定費を賄いきれなくなり、複数行での持続的な競争が可能でない地域が生じる。地域からの収益の減少がさらに進めば、1行単独であっても不採算な地域が発生すると想定される」(① P9)

\* 本業の収益と営業経費を都道府県別で試算すると

1行単独であれば存続可能な都道府県 13  
1行単独でも採算が取れない都道府県 23

↑

金融機関の徹底や淘汰が生じる可能性が高い。長崎県は1行単独でも不採算 (① P10)

(2) 少子高齢化・人口減少による顧客基盤衰退論の批判

企業数減少=事業性資金需要の減少  
少子高齢化(生産年齢人口減少)=貸出額の減少

↓

資金需要の継続的減少が避けられない (① P2)

\* 中小企業向け貸出残高と生産年齢人口の関係から、2030年の中小企業向け貸出残高を推計すると、40~50%減少する都道府県が10を超える! (① P3)

\* このままでは「地域金融機関は、真に地域企業のためになる金融仲介機能が発揮できなくなる」 (① P13)

↑

そもそも生産年齢人口と中小企業向け貸出残高の関係に明確な因果関係はない。一定時期の相関関係を持って、その比率が普遍的に継続するとは言えない。こういう数字遊びを持って政策決定の根拠とするのは杜撰の極み。

(3) 銀行過剰論と経営統合による経営基盤強化論の批判

収益性低下のみで過剰を結論  
経営統合によって経営基盤は強化できるのか

(4) 担保・保証に依存した経営原因論の批判

事業性を見ない融資手法と短絡化できるのか  
信用保証制度も含めた公的保証制度も同一視

## 二、再編による解決の方向性の批判的検証

(1) 事業性重視の融資への転換

事業性重視とは何か 生産性の高い企業の育成に集中

(2) 合併による経営基盤の強化

「金融機関の健全性と金融仲介機能の両立」を図るためには、経営統合が必要

「人口減少等を通じて収益環境が厳しくなる中で、経営統合は、金融機関の健全性維持のための一つの選択肢である」 (① P17)

↓

システムの共通化、重複店舗の削減などによる規模の利益の発揮は、同一地域内の経営統合の場合に効果は大きい

(3) 協同組織金融機関も経営統合?

「協同組織金融機関等が、リスク管理といった各行共通の業務やシステムの集約化等による業務の効率化を図りつつ、きめ細やかな融資や本業支援の取組みを強化していくことも重要」 (① P18)

↓

リレバンとの整合性が損なわれるのではないのか

終わりに 顧客本位の業務には合併しか道はないのか

参考資料 「地域金融の課題と競争のあり方」 2018年4月11日 金融仲介の改善に向けた検討会議